令和７年度村政運営の所信

「未来へ挑戦しつづける村づくり 全世代が活躍できる東通村」

東通村長　畑中稔朗

村長就任以来、自らが掲げたスローガンの下、令和三年四月十三日の初登庁の日の感激を胸に、初心を忘れることなく、常に住民の皆様の視点・目線で職務を遂行して参りました。

和を以て貴しと為す

私の政治理念である、「村民が主役の村づくり、村民のための村づくり」、「子どもからお年寄りまで、すべての人たちが安心して笑顔で暮らせる地域づくり」、「住民の声に耳を傾け、一人ひとりに寄り添った村政運営」を実現すべく、集落に出向き、村民の皆様の声に耳を傾け、声を拾い、対話するため、昨年度も、里地区を加えて全集落で開催した「東通円卓会議」に加え、「村商工会円卓会議」、「シルバー人材センター円卓会議」等を開催し、皆様と膝を突き合わせ直接意見を伺うことにより、それぞれの集落、地域、そして幅広い年齢や職業に従事する皆様が、直面している足元の課題から未来への展望まで、これまで以上に詳細に伺うことが叶いました。

また、「小学生円卓会議」や「中学生議会」では、子ども達が、学校生活だけではなく、地域に対する思いや考え、村の将来等について、しっかりとした意見を持ち、自分たちが考える東通村の未来、将来の姿を楽しそうに話してくれました。

山積する課題に対して、円卓会議等を通じて、住民一人ひとりの意見を伺い、課題解決し村づくりに繋げる。

地域住民の皆様からは、それぞれの地域において、これまでの成果は確実に実感していると、多くの声を頂いております。

これまで取り組んできたことに、大きな手応えを感じた一期目でした。

これからの東通村の将来、そして未来について、住民との議論をさらに深めて参りたいと考えております。

当村の最重要課題である、東通原子力発電所の推進のため、安全性の確保を前提として、村民のご理解のもと、国、県、事業者との対話を重ね、村議会と連携し、幅広い要望活動を推進するとともに、長期的に持続可能な原子力発電所との共生・共創による村づくりの実現に向け、引き続き、全力を挙げて取り組んで参る所存でありますので、皆様のご理解とご協力を改めてお願いいたします。

村民一人ひとりが主役の村政運営実現に向けて、

・全世代が主役で活躍・挑戦しつづける村民主体の「むらづくり」、

・次世代が主役で活躍・挑戦できる「ひとづくり」、

・地域産業が活躍・挑戦できる「仕事づくり」、

・全世代が元気に活躍できる「健康・生きがいづくり」、

・防災・減災を軸とした全世代を守る「暮らしづくり」、

・原子力を軸としたエネルギーとの共生を目指す「地域づくり」

を、強力に推し進めて参ります。

主な事業につきましては、別に記載させて頂いておりますが、役場が、地域に暮らす人たちにとって、いつも身近であること、そして信頼されなければならないという思いで、常に住民の立場、住民の目線で、仕事と向き合い、最善を尽くす所存でありますので、宜しくお願いいたします。